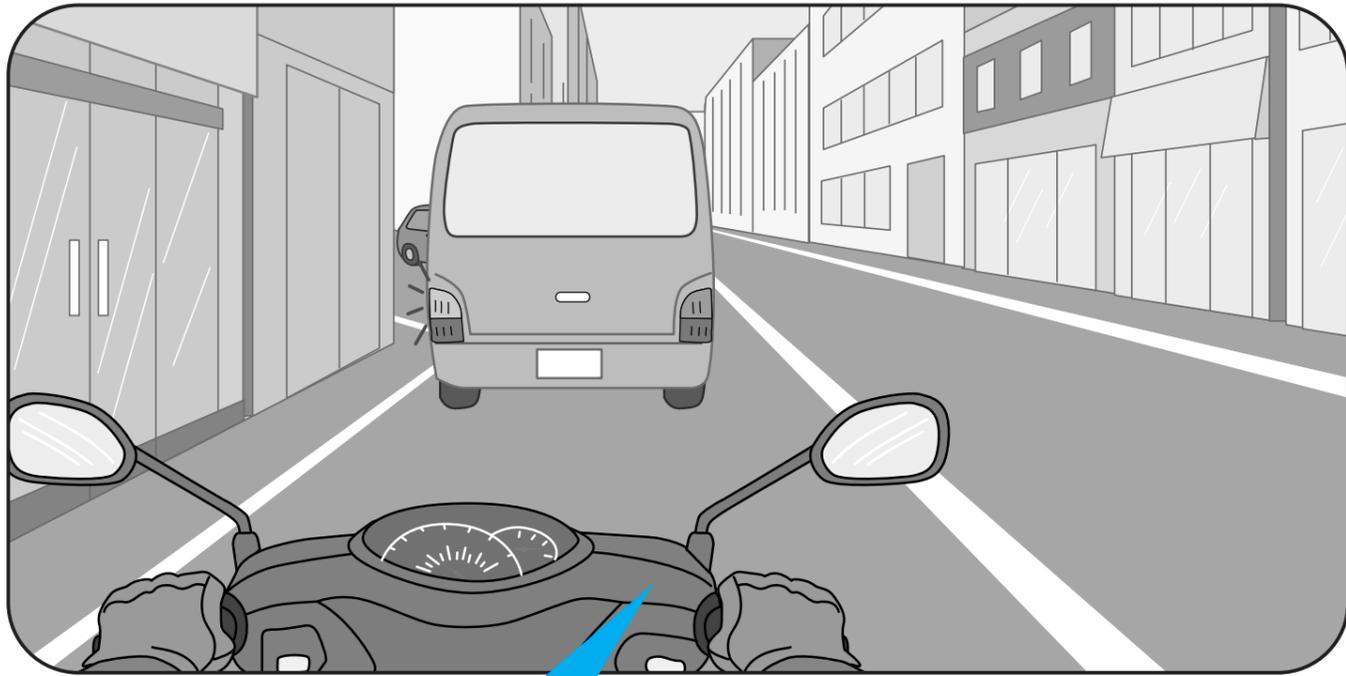


危険予測トレーニング(KYT) — 危険感受性を育てる

第28回 前方の四輪車が左折しようとしている時(二輪車)

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は二輪車のライダーに、左折する前車の横を通る時の危険について考えてもらうためのKYTです。



活用方法

- ① 少人数のグループをつくりまします。
- ② 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
- ③ その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト(カラー・A4版)」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード(無料)できます。

ホンダ SJ 検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業(株) 安全運転普及本部
TEL: 03 (5412) 1736
E-mail: sj-mail@spirit.honda.co.jp

あなたは、四輪車の後ろを走っています。前方の四輪車が左折するためにウィンカーを出し、減速しました。

安全に通過するには、どのようなことを予測する必要がありますか？

©本田技研工業(株)

指導者ファイル 9

このコーナーでは、地域で活躍する交通安全教育に携わる指導者の方々を紹介していきます。



岡山市・交通指導員の皆さん

写真後列左から、大池美穂子さん、柏崎多子さん、大西操さん、細川香織さん。写真前列左から、馬場恵美さん、田淵典子さん、藤井康代さん

子どもたちに、まず交通安全の意義を伝える

岡山県岡山市は4つの区からなる政令指定都市で、約790平方kmの面積を有している。その広大な市域の交通安全活動を担っているのが9名の交通指導員の皆さんである。幼児や小・中学生、その保護者を中心に、平成23年度は1100回以上も交通安全教室を開催している。

子どもを対象とした交通安全教室では、交通指導員の皆さんは子どもたちに必ず「みんなの命は1つしかない。だから、その命を守るために交通安全の勉強が必要なんだ」という目的を伝えているという。そして、教室で覚えたことを実生活の中で実践してもらえよう子どもの印象に残る指導を心がけている。子どもたちに興味を持って参加してもらうための教材や、簡単な手話を組み合わせた歌などを取り入れている。

指導者の皆さんの活動を動画でご紹介

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/area/movie/>



★幼児に信号機の色の意味を伝える教材

子どもに赤、青、黄色の模様のクレヨンで信号機を模した丸型の枠の中をこすってもらう。すると、簡単な手品の仕掛けで枠の中がクレヨンと同じ色に変わる



3色が完成した後に、信号機の各色の並び方や意味を子どもたちに問いかけながら確認していく

★チャイルドシートやシートベルトの重要性を伝える教材

男の子がお母さんや友達の動物たちと一緒にクルマでピクニックへ行くというお話。チャイルドシートを使用していないと、お母さんが急ブレーキをかけた時に座席から投げ出されてしまうことをわかりやすく伝えるためのもの



★楽しみながら横断訓練に取り組んでもらうための教材

教室内などで横断訓練を行う時、横断歩道を渡った先に、いろいろな動物の紙人形を置いておく。横断を終えたら、それぞれの動物の好物を口に入れてもらう。動物の他にポストに手紙を投函するパターンもある。子どもたちに楽しみながら取り組んでもらうための工夫の1つ



SJクイズ ?

Q1 平成23年の二輪車(原付・自動二輪)乗車中の交通事故死者数(846人)を年齢層別にみると、最も多い年齢層は次のうちどれでしょう?

- ① 16～24歳 ② 30～39歳
③ 40～49歳 ④ 65歳以上

Q2 平成22年のヘルメット着用別の二輪車乗員死亡率をみると、ヘルメットを着用していて離脱がなかった場合の死亡率は0.5%です。ヘルメットを着用して離脱した場合の死亡率は、その何倍になっているでしょう?

- ① 約2倍
② 約3倍
③ 約5倍
④ 約8倍



Q3 二輪車乗車中の交通事故死者数を損傷部位別にみると、頭部の割合が最も高く、次に胸部です。胸部損傷事故での死者数(平成13～22年の累計)を人身加害部位(致命傷を与えたもの)別にみて、最もは次のうちどれでしょう?

- ① 自動車(相手) ② 工作物 ③ 路面

※「解答」は8面下。「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

©本田技研工業(株)